



第10回総会ご報告

理事長 江原文子

6月3日(土)10時より練馬区立区民・産業プラザ研修室において、第10回総会を開催いたしました。当日は正会員46名のうち参加者36名(書面議決・委任状含む)ですべての議案が可決されました。また、賛助会員団体代表の方からのスピーチ、メッセージをいただくことができ、活動への想いを新たにすることができました。

昨年度は市民発電所11号機の設置先(大泉学園町に新設される「ウィズタイムホーム」)が決まり(設置工事は今年度となりますが)、ミニ市民発電所については4号機、5号機を寄贈し、さらに6号機の寄贈を決定しました。



また、徐々にコロナ禍での制限が少なくなり、秋以降は3年ぶりに開催された「練馬まつり」をはじめとするさまざまなイベントでのソーラークッカーの実演など自然エネルギーをアピールする機会に恵まれました。

今年度は市民発電所12号機の設置場所を探すこと、12月に練馬駅前の平成つつじ公園で開催する「ソーラークッカー全国大会」を成功させることを中心に、地域での自然エネルギーの普及活動を進めてまいります。リユース事業では、地域の方から寄付していただいた物品をできるだけ地域の方に有効活用していただくために、よりいっそうの工夫をしていきたいと考えています。会員の皆さまには、変わらぬご支援、ご協力をお願いするとともに、お気づきの点など遠慮なくご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

なお、総会後の講演会ではFridays For Future Tokyoで活動されている大学生・田原美優さんのお話を伺いました。詳しくは裏面をご覧ください。

◆2023年4月～6月

元気力発電所の主な活動

- 4月11日 「支援の日」
- 4月21日 市民電力ゼミナール第1回
「期待高まる『ペロプ 効付』の現状と展望」
- 4月22日
i-LDKでの「元気ちゃんのソーラー実験」
- 4月29日～5月7日 GW休業
- 5月10日 ミニ市民発電所6号機寄贈
(NPO法人障がい児・者の学びを保障する会)
- 5月11日 「支援の日」
- 5月16日 汚染水を流さないで！東京集会」でアピール(日比谷野外音楽堂)
- 5月26日 市民電力ゼミナール第2回
「地域新電力がめざすエネルギー自立のスマートコミュニティ」
- 6月3日 第10回総会&講演会
- 6月16日 市民電力ゼミナール第3回
「原発の町に地域力で再エネ事業」
- 6月24日
i-LDKでの「元気ちゃんのソーラー実験」

●今後の予定

- 7月1日 ウィズタイムホーム(11号機設置予定先)開所式参加
- 7月11日 「支援の日」
- 7月22日 北東京生活クラブ生協まちづくりフェスタでソーラークッカー(ひまわり)工作教室
- 7月28日 市民電力ゼミナール第4回

夏季休業

8月9日(水)～16日(水)

「支援の日」報告

支援先のNPO法人福島こども保養プロジェクトでは、8月4日～7日に飯能での保養キャンプを実施予定です。元気力発電所では毎月11日を「支援の日」として当日のリユース収入の30%を寄付するとともに、ステーションで同プロジェクトへの直接カンパを受け付けています。4月からの寄付額合計は32,534円となっており、7月分と合わせてキャンプに間に合うように送金します。



「Fridays For Future Tokyo 活動報告」

田原美優さん(一橋大学社会学部4年)の講演を伺って

美優さんは、自分の大好きな球磨川が熊本豪雨により大きな被害をもたらしたことや、昨年インドでの49度を超す熱波の中で暮らす現地の人たちの状況を目の当たりにして(なんと!実際にでかけていったそう)、自分たちの行動が誰かを傷つけているという意識を持ったことから、持ち前の好奇心で「活動家になってみた」そうです。さすが自他ともに認める行動力モンスター!

特に会議運営の方法が興味深いものでした。Zoomのチャット欄、議事録、連絡方法もカラフルで感謝や共感を表す絵文字を多用するなど、メンバーに対する心配りに感心しました。会議の前に10分間の近況報告などの雑談を行い場を温める「チェックイン」は我々でもできそうです。そして「この人と一緒にいたい」と思わせる人になること、気になる人とは一対一でミーティングをすることを大事にしていることがすばらしい!と思いました。今後の活動については、若い人達に対して「見せる」ロビー活動、デモの大切さを伝える面白いアイデア、行政に対して「連帯することを示す」デモをやりたいとのことでした。

夢は、地域の人と人をつなぐ仕事で気候危機を解決することと、立川に市民発電所をつくること、地域新聞



の会社に就職が決まっているそうです。これからも美優さんらしく地域で活躍することでしょう。

さて、今日の講演のゴールは「明日からも活動を頑張ろう」とワクワクすること!でした。

日本のエネルギー政策は情けない状況ですが、あきらめないで、草の根パワーで私たちのやり方で地道に活動を続けていこう!と、元気が出ました。好奇心とワクワク感を大切に、楽しく活動していきたいと思います。大人たちもがんばろう!(佐和さつき)

「汚染水を海に流さないで!」ハガキアクションの報告を!

5月16日(火)日比谷野外音楽堂で、500人が集まり、「汚染水を海に流すな!5.16東京集会」が開催されました。私たちは、昨秋から「これ以上海を汚すな!市民会議」の皆さまの「汚染水を海に流さないで!」ハガキアクションに賛同し、2つあるステーションに来所される方々に、福島県知事、双葉町町長、大熊町町長へのハガキ3枚を書いていただき、切手代も負担いただく活動を始めました。最初は、各ステーションで、100枚ずつ書いていただくことを目標にしました。始めてみると、快く書いてくださる方が予想よりずっと多く、最終的には400セット以上の投函を確認しました。集会では、この活動を報告しました。



ハガキアクションの報告をしました

現在、上記に加え、「汚染水海洋放出に反対する市民の会」の呼びかけに賛同して、内閣総理大臣、経済産業大臣、東京電力社長の3名に宛ててハガキを出すアクションも展開中です。「汚染水を流さないで」という思いを直接伝える活動にぜひご協力ください。(小出)